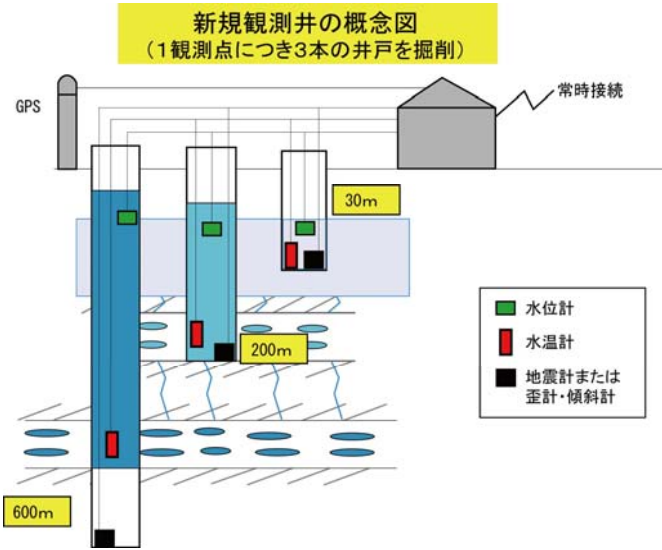
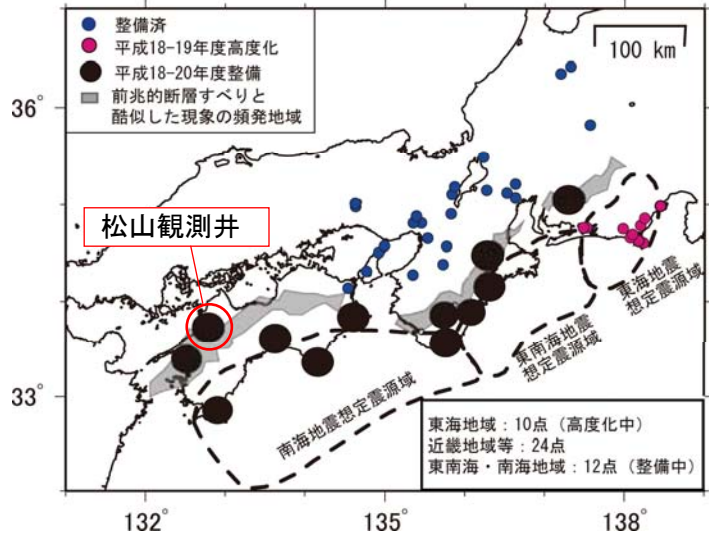
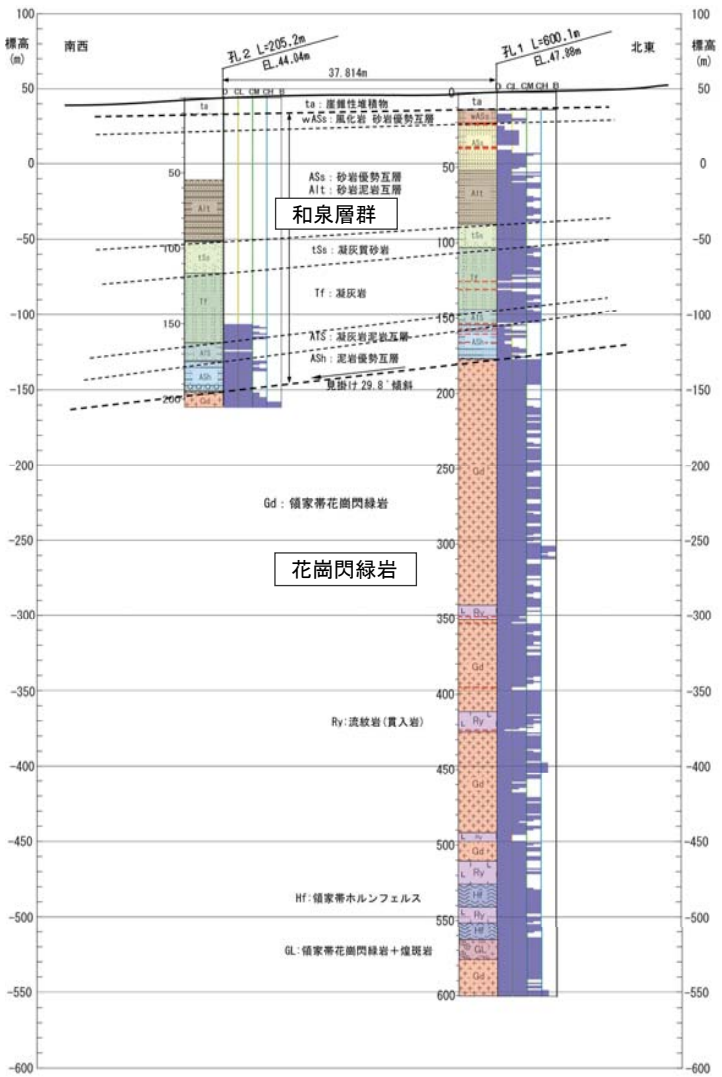
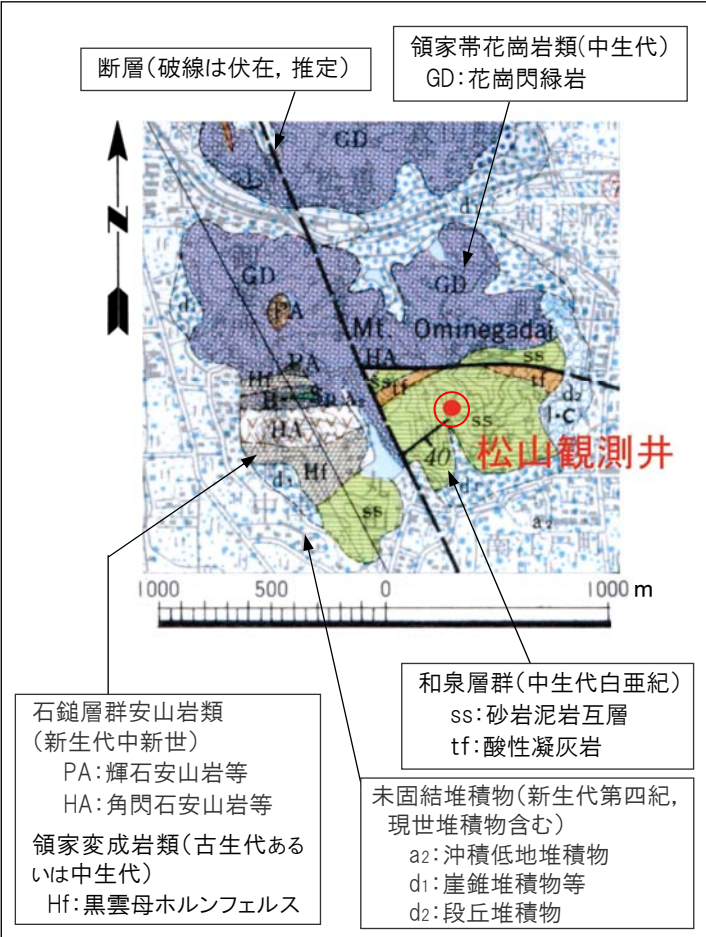


産業技術総合研究所ではこれまで、地下水観測による東海地震の予知研究を 30 年余り継続し、経験を積んできました。この成果を、東南海・南海地震の予測研究に生かすために 2006 年度から 2008 年度にかけて、四国や紀伊半島周辺の 12カ所に新規観測井を設置しました。各観測井は 600m, 200m, 30m の3本の孔井に設置した観測装置および GPS から構成され、データはつくば市の地質調査総合センターに送られます。

東海・東南海・南海・近畿地方周辺における地下水等総合観測網

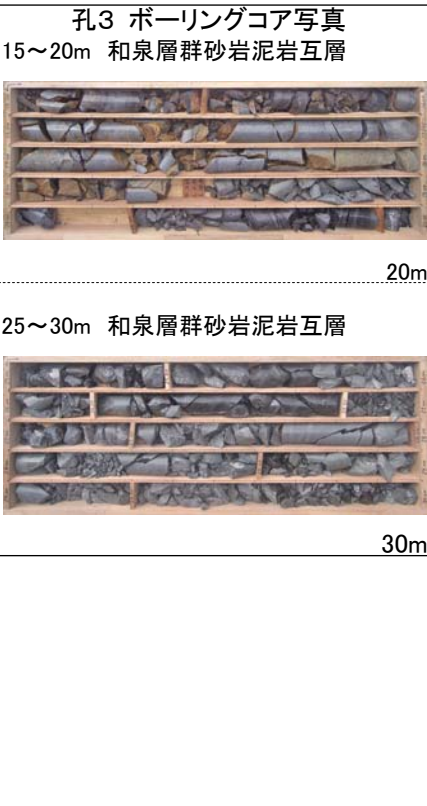
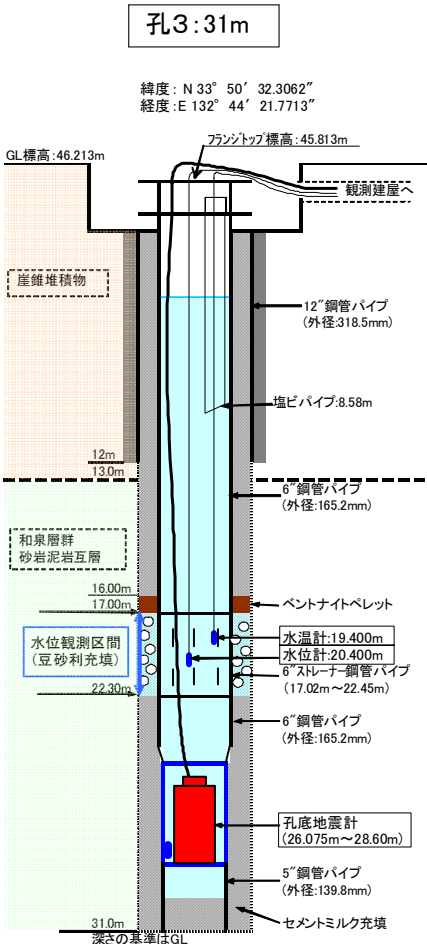
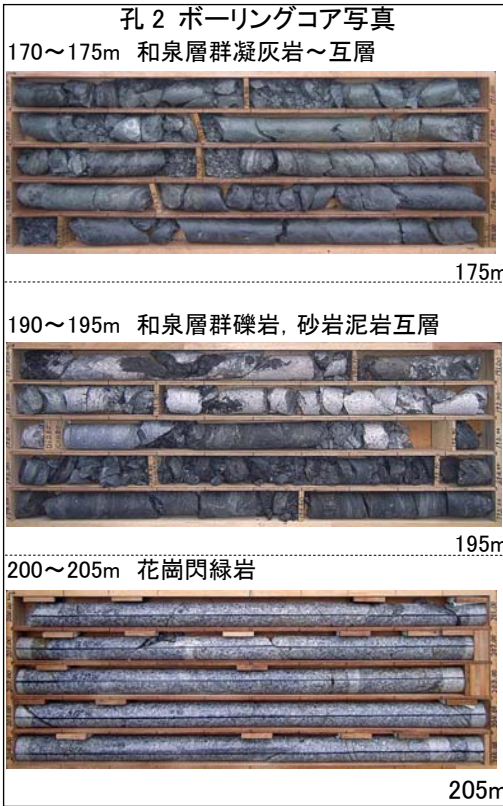
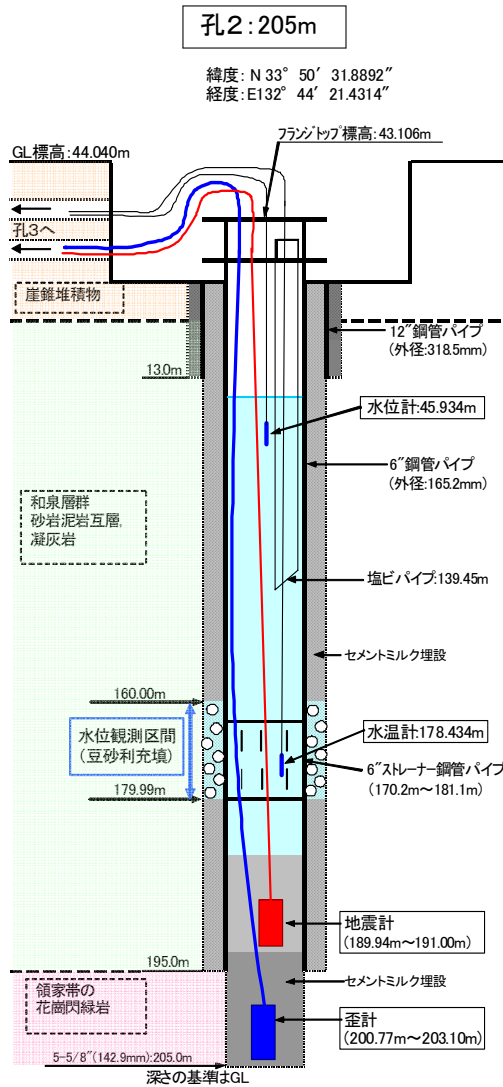
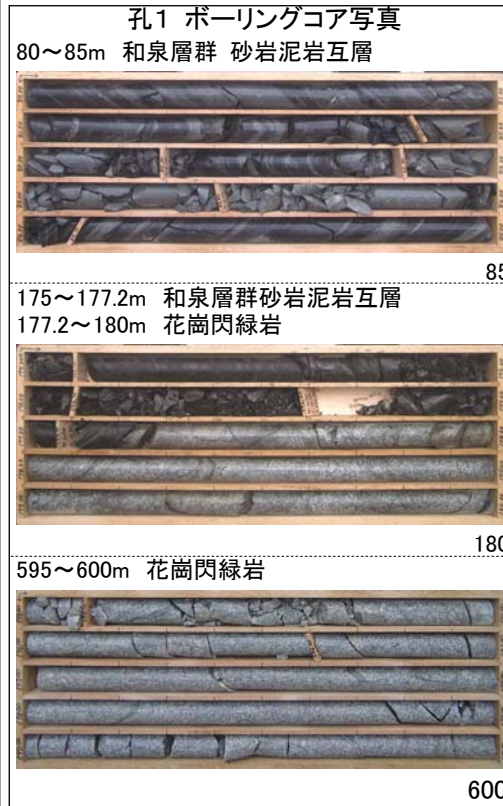
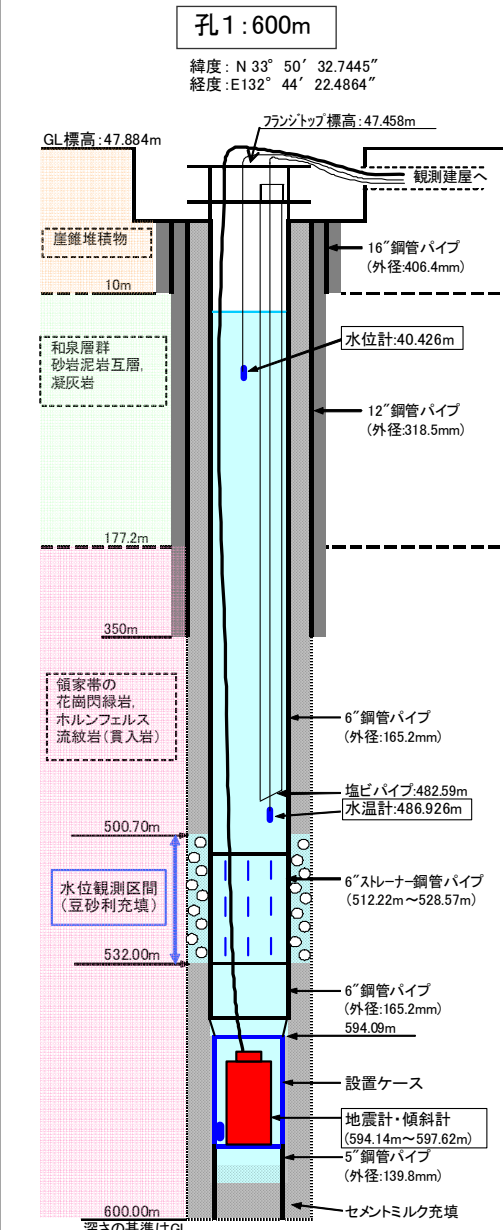


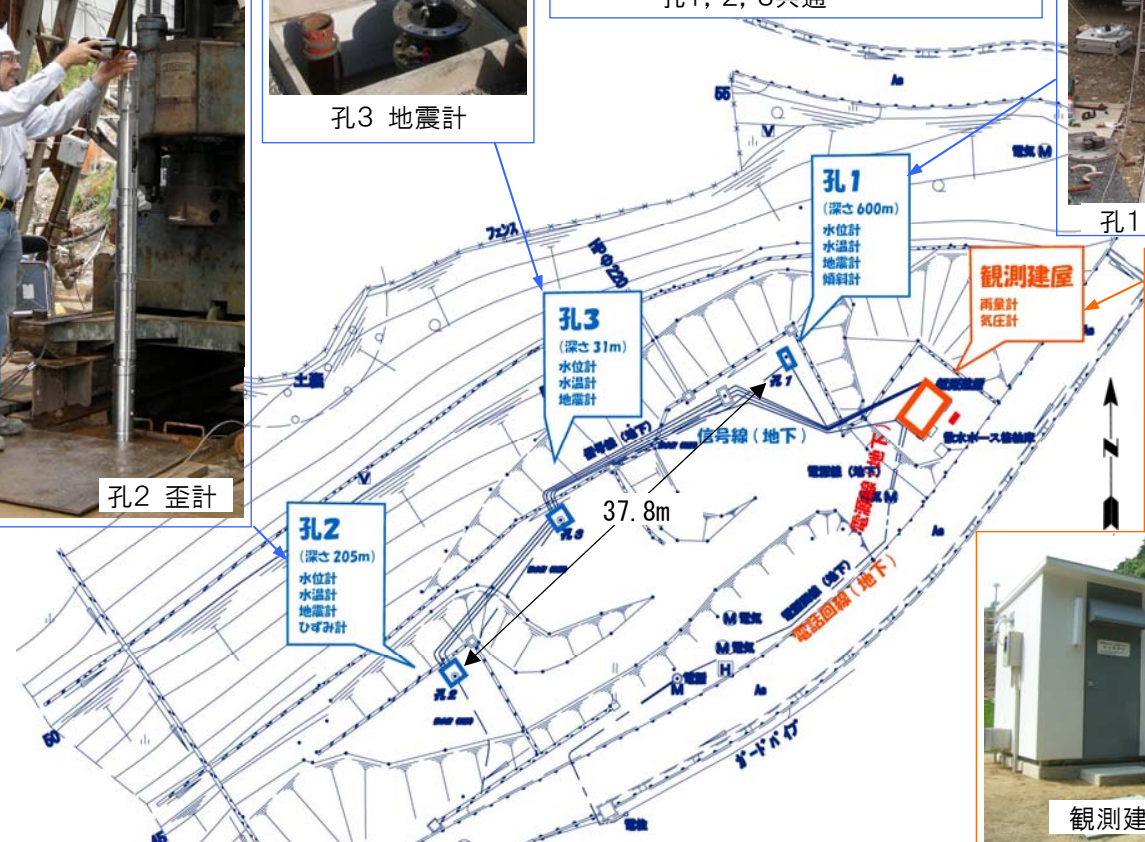
松山観測井は松山総合公園かえでの谷に設置しました。観測井周辺の地質は、領家帯花崗岩類の花崗閃緑岩(中生代)および和泉層群の砂岩泥岩互層等(中生代白亜紀)から構成されており、地下にもこれらの岩石が分布しています。



孔2ー孔1 孔井地質

土地分類基本調査「三津浜」5 万分の 1 表層地質図(1975,愛媛県)より一部を引用





孔名	深度	孔口標高(GL)	緯度	経度	地下水観測装置			その他 観測装置	
孔1	600m	47.884m	N 33.8424290°	E 132.7395796°	水位計	水温計	GL-520m付近の帯水層	速度型地震計+傾斜計	孔底付近に設置
孔2	205m	44.040m	N 33.8421914°	E 132.7392865°	水位計	水温計	GL-170m付近の帯水層	速度型地震計+歪計	孔底付近に設置(埋設)
孔3	31m	46.213m	N 33.8423073°	E 132.7393809°	水位計	水温計	GL-20m付近の帯水層	速度型地震計	孔底付近に設置

観測井：愛媛県松山市南江戸5丁目～6丁目
松山総合公園 かえでの谷
GPS：愛媛県松山市朝日ヶ丘1丁目



伊予鉄バス「津田団地前」行き
「丸山」停留所下車 徒歩7分

連絡先
産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地震地下水研究グループ
〒305-8567 茨城県つくば市
東1-1-1 中央第7
TEL: 029-861-3656

観測結果は、インターネットで閲覧できます
<http://www.gsj.jp/wellweb/>

東南海・南海地震予測のための 地下水等観測施設 松山観測井



孔1 掘削工事



過去に起きた南海地震の後に、道後温泉のお湯の湧出が止まったり、減ったという記述が、古文書などに見られます。このような地震に伴う地下水の変化を、その他の地殻活動と共に捉え、将来の東南海・南海地震予測に役立てるために、この施設が作られました。
(なお、この施設は観測研究用であり、警報用ではありません)

